

資料提供
平成 23 年 4 月 4 日
課名 国際課
担当 猪原, 藤田
電話 082-513-2361
内線 2361

南加広島県人会からの東日本大震災義援金について

1 要旨

このことについて、米国ロサンゼルスにある南加（南カリフォルニア）広島県人会から寄付の申し出があった。

2 金額

3万ドル

※ 日本赤十字社広島県支部（支部長：湯崎英彦）の義援金口座に振込まれる予定

3 目録の受領について

南加広島県人会芥川義則（あくたがわよしのり）会長が知事表敬の機会に目録を手交する。（知事表敬日時：平成 23 年 4 月 6 日（水）9:00～（於：知事室））

4 参考

- （1）南加広島県人会からは、かつて広島県の戦後復興期に、県人会も厳しい状況下でありながら物心両面で多大な御支援をいただいている。【同県人会から 400 万円の寄付金が送金され、広島市児童図書館建設費に充てられた。】
- （2）昨年 10 月、南加広島県人会創立 100 周年記念式典に知事団・議会団が参加した。
- （3）来広・知事表敬は、震災以前から予定されていたものである。
- （4）南加広島県人会の概要については別紙参照

5 義援金に関する県の取組状況

日本赤十字社広島県支部の活動に協力（義援金受付の紹介、県庁正面玄関ロビーほか 30 の県関係機関に募金箱設置）

なんか
広島県と南加広島県人会との関係について

H23.4 国際課

1 南加（南カリフォルニア）広島県人会について

- ・所在地：ロサンゼルス
- ・会長：芥川 義則(あくたがわ よしのり)
- ・世帯数：630 世帯
- ・創立年：1910 年
- ・その他：北米で最大規模の県人会。戦後の広島県の復興にあたり，多大な支援をいただいた

2 移住の歴史

- ・1800 年代の終わりに，広島県からアメリカ合衆国本土への移住が始まり，ロサンゼルスは主要な移住先のひとつ。
- ・一旦ハワイへ渡航した移住者がアメリカ本土へ再移住することも多かった。
- ・アメリカ本土へ渡航した日本人は，まずサンフランシスコを中心として，カリフォルニア州の北部・中部・南部（ロサンゼルス）へと進出した。
- ・広島県からアメリカ合衆国本土への移住状況(広島県移住史より)

期 間	1898～1907	1908～1917	1918～1927	1928～1937
人 数	11,699 人	13,128 人	11,664 人	2,367

3 南加広島県人会関連の県事業

- ・事業名： 国際交流ユース in HIROSHIMA（県民活動課）
- ・時期： 7～8月 約10日間
- ・趣 旨： ○世界各地の県人会から青少年を広島へ招へいして広島の自然，歴史や文化等を実体験してもらい，広島のよき理解者となってもらうとともに，今後の県人会活動を担う人材の育成に繋げ，本県と在外県人会との国際的なネットワークを維持する。
○広島の青少年が企画から参加する国際交流活動を通じて，相互理解を深め，グローバルな感覚を持った行動力のある青少年の育成を図る。
- ・実施主体： 国際交流ユース in HIROSHIMA 実行委員会（民間団体，行政等で構成）
- ・実施状況： 南加広島県人会からの招聘人数

年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
人 数	2 名	3 名	3 名	2 名	2 名	1 名(予定)

4 南加広島県人会創立 100 周年記念祝賀式典概要

- ・日 時：平成 22 年 10 月 10 日午前 10 時～
- ・場 所：クワイエットキャノン(ロサンゼルス郡モンテペロ市)
- ・内 容：高齢者・功労者への表彰，レセプション，アトラクション等